

患者番号: @PATIENTID 平成 年 月 日

入院療養計画書

慢性副鼻腔炎の手術を受けられる @PATIENTNAME 様へ

@PATIENTROOM 号室

主治医: () 印) 担当医: ()
 病棟師長() 担当看護師()
 年 月 日 管理栄養士()

患者又は代理者サイン()

- ・特別な栄養管理の必要性(あり・なし)
- ・薬剤指導の実施(する・しない)
- ・病室入り口の名前の表示(する・しない)

病名: 症状:

	入院当日(/)	手術前日(/)	手術当日(/)		1日目(/)	2日目(/)	3日目(/)	4日目(/)	5日目(/)
			手術前	手術後					7日目(/)
処置・治療		医師の診察 麻酔科の受診をします	(麻酔科医師の指示により、手術前30分前に注射をします) 注射指示がない場合は、手術室まで歩いて行きます	手術後より鼻の中にガーゼが入ってきます 検温を定期的に行います		鼻の中の異常がなければ、処置時にガーゼを抜きます (状況によっては3日目に抜くこともあります) ガーゼを抜いた後から、必要時鼻の洗浄を行います。			鼻洗浄は、医師の指示があるまで、朝、夕で続けてください。
薬剤	入院前から内服している場合は、内服薬の確認をします。その後必要な場合は内服をしてもらいます		手術前点滴留置 (手術が8:30以降の場合には、朝から点滴を行います) 	抗生剤の点滴 (点滴は食事が半分以上食べられたら終了) 痛み止めの内服		ガーゼを抜いた後に出血がなければ、午後に点滴を抜きます		内服に変更になります	
食事	常食	麻酔科の指示により、最終の食事・飲水の時間が決まります		手術2時間後に看護師つきそいのもと飲水を行い、問題なければ全粥食が食べれます				常食に変更	
清潔	シャワー・入浴			手術後2時間経ち状態に問題なければ、看護師の介助で体拭きや着替えが可能となります	タオルでの清拭が可能となります				傷の状態により、医師の許可でシャワー可能となります。ぬるま湯で入ってください
安静度	病院内歩行可能		麻酔科医師の指示により、注射のない方は、病棟内歩行可能	手術後2時間はベッド上安静、酸素吸入を行います。2時間後トイレへの歩行が可能となります。初回のトイレは看護師が付き添いますので教えてください。	病棟内歩行可能				病院内歩行可能
患者及び家族への説明	手術同意書や手術について医師・看護師より説明があります	午後から麻酔科外来で、麻酔科医師より麻酔について説明があります	家族は6階デイルームかエレベーターホールで待機してください 病棟を離れる時は看護師に声をかけてください	手術後医師より家族に手術についての説明があります ◎ 手術の後に痛み・吐き気がある時や、のどに違和感がある場合は我慢をせずに知らせください。また唾液に血が混じることがあります。吐き気予防のため、飲み込まずにティッシュに出して下さい。 ガーゼ挿入中は涙や腫れ、頭が重い感じがします 鼻に当てるガーゼの交換について看護師が説明します		出血や感染予防のため、ガーゼを抜いた後は指やティッシュを入れたり、力を入れて鼻をかんだりしないでください。 またトイレで息むなど、力を入れることはしないでください。便秘を予防するために、水分を多めに摂りましょう。 口の中の乾燥や不快感の予防・感染予防のため、マスクを着用しうがいを行ってください			医師・看護師より退院後の日常生活に向けての注意点の説明があります

※病名などは現時点で考えられるものであり、今後検査などを進めていくに従って変わることがあります。入院期間については、現時点で予測される期間です。

平成24年5月改訂